

審議会委員	担当課	反映判断	部	章	節	項	目	頁	行	意見・質問	回答	補足
環境審議会での意見・コメント												
橋詰委員	廃棄物担当	反映	1		3					資源循環の関連法令については、流れがわかりやすいように制定順に記載すべきではないか（嚆矢である家電リサイクル法と容器包装リサイクル法を初めに持ってきて、残りを時系列順に並べる）。	修正します。	
杉下副会長	環境事業センター	反映	2	3	1	1	6	138		廃食油のリサイクルについて：近年注目を集めているSAF（持続可能な航空燃料）についてもっと詳細に記述すべきではないか（回収量など）。	反映いたしました。	
崎山委員	農業水産課	反映せず	2	1	3	1	7	69		多様な生物の生息・生育環境の保全について：「イ海域」として江ノ島・フィッシャーマンズ・プロジェクトのことも触れています。おそらく藻場が無くなってしまっていることも聞いておられると思います。河川水や海水浴場の汚濁や化学物質について調べられておられますが、いわゆる富栄養、貧栄養とかいったあたりのことは把握されていますでしょうか。	河川や海水浴場の水質調査や環境化学物質調査については実施しておりますが、公害に関する環境基準に対するの調査となるため、「富栄養・貧栄養」という観点については把握しておりません。	環境保全課による回答。
崎山委員	郷土歴史課	反映せず	2	1	7			96-99		文化的・歴史的資源の活用について：江の島はもともと景勝地、信仰の地であったと思いますが、明治の初め、エドワード・モースが江の島に臨海実験所を設けたことで、日本の海洋生物研究発祥の地として知られるようになりました。が、大森貝塚の発見に比べて非常に一般の方の知名度が低く残念に思っております。こういったところにも記載していただけたらと思っています。モースの記念碑や臨海実験所跡推定地など見る場所もあります。今年はモース没後100年、2027年にはモース来日150年となります。 海洋立国日本として、江の島、相模湾が重要な神奈川、藤沢として、環境教育や海洋教育を進めるにあたり、地域の歴史も併せて周知できればと思っております。地域のことを知れば知るほど好きになってくれるものと思っております。	ふじさわ環境白書には市が実施している事業を記載しており、市民等との連携に関する取組については載せておりません。（エドワード・モースだけでなく、他の取組も同様です。） ただ、市民との連携で、藤沢郷土資源の保存、活用へ寄与することは重要であると認識しており、現在策定中の「藤沢市文化財保存活用地域計画」など他の計画にて検討を行ってまいります。	
崎山委員	河川水路課	反映せず	2	2	2	1	15	117		水辺へのアクセスについて：「親水護岸を計画する予定」とのこと。親水護岸というとあまりイメージは良くないのですが、どのような計画なのでしょう。	親水護岸とは、水に親しみやすくすることに配慮した形状の護岸のことで、護岸から階段等で水辺まで近づくことができるような整備を予定しています。	 参考：準用河川一色川の親水護岸

審議会委員	担当課	反映判断	部	章	節	項	目	頁	行	意見・質問	回答	補足
環境審議会での意見・コメント												
崎山委員	みどり 保全課	反映せず	2	2	3	1		121- 128		地域の緑化について：以前も書いたかもしれませんが、緑化について、土壌から植生まで元々のあるものをそのまま残すことをがベースにしてみたいと思います。 また、これも以前書き込みましたが、駅周辺などでは空き家が増え、駅から遠い場所でどんどん宅地が広がっていく様子に大変な無駄を感じています。バスなどが減ってしまう中、駅から遠い場所に住むのは大変と思います。マイカーも必要となるでしょう。環境審議会での話でないと伺っていますが、空き家の対策は考えていきたいものです。	地域の緑化につきましては、新築時等の建築敷地の面積に応じた緑化を義務付けており、その中で、既存樹木については極力保全するよう努めることとしています。 また、その新築等時に一定規模の既存樹木を保全する場合には、緑化率の優遇が受けれる制度を設けており、既存の緑が少しでも保全されるよう努めております。 空き家対策につきましては、担当課である住まい暮らし政策課より、 『空家対策につきましては、藤沢市空家等対策計画を策定し、「空家の発生抑制」「空家の適正管理」「空家の利活用」の基本方針を軸に、地域住民や関係団体等と協働して空家対策を推進しています。』との回答をいただきました。	
崎山委員	環境施設課 （北部環境事業所）	反映せず	2	4	1			156- 166		環境教育の推進について：今日の会合でも話が出ていましたが、教育・啓発は重要と思います。リサイクルセンターの見学はぜひ各学校から見学に行ってもらいたいです。また、先も出た江ノ島・フィッシャーマンズ・プロジェクトが行っているプログラムも非常に価値があると思っています。どこかの学年で一度は見学してもらいたいと考えています。教職員の研修、企業さんの研修などでも価値があると思います。温暖化はある程度対応していくしかないですが、ごみを垂れ流さないことはできと思っています。	リサイクルプラザ藤沢については、令和6年度実績で市内20校2,262人が見学に来ています。 引き続き、施設見学については実施していく予定です。	
崎山委員	災害対策課・ 防災政策課	反映せず	2	5	5	4		214~		自然災害・沿岸域について：7/30の津波警報時、当館は一時避難所として対応いたしました。突然の警報で電車など止まってしまい、モノレールは動いていたものの陸の孤島気味の状態でした。津波到達時刻まで時間がある場合の対応については、電鉄会社とうまく連携していただき、沿岸域から逃げられる態勢（帰宅困難者を無駄に作らない）を整えていただきたいと思います。	津波警報発表に伴うご対応大変お疲れ様でした。災害対策課では、この対応を受け、鉄道事業者を中心とした藤沢市帰宅困難者等対策協議会運営委員会の臨時会を8月19日に開催いたしました。臨時会において、各鉄道事業者と自治体の当日の対応を共有し、今後の検討材料としたものです。引き続き市民等の安全安心のため災害対策に努めてまいります。	反映しない理由：1 事案の内容であり、2 18ページ（6）産業・経済活動①帰宅困難者対策に記載されている内容のため。